



たかの
高野 たけし
無所属 47歳

逗子市議会議員（5期）
・教育民生常任委員会 委員長
・議会運営委員会 委員
・議会報編集委員会 委員
・基地対策特別委員会 委員

高野たけしの活動報告 ～ 住みやすいまちづくりに向けて～

6月9日～24日の日程で開催された第2回定例会では、新型コロナウイルス感染症対策や財政対策のほか、市民の皆様から頂いたご意見・ご要望を踏まえ一般質問を行いました。（以下に一部掲載）

◆自治体間広域連携で行政の効率化

これからの人口減少社会を見据え、どの自治体でも行っている普遍的な住民サービス事業（ゴミ処理や消防、学校給食など）においては効率性を求め広域連携をさらに進めるべき旨提言したところ、現在横浜市と図書館利用について連携準備を進めているところだが、その他の事業においても積極的に進めていくとの回答が市長よりありました。

また、今後は事務事業に限らず、観光や高齢者の移動サービスなど、地域課題の解決においても同様の手法を用いていくべきと考えています。

◆相談体制の構築で妊活をサポート

国立社会保障・人口問題研究所が2015年に出した報告書によると、子どものいない夫婦において「不妊を心配したことがある・している」と回答した割合は55.2%、「不妊検査・治療を受けたことがある」という割合は28.2%との結果が出ています。すでに検査や治療を受けている人たちも、そこに至るプロセスでは多くの悩みを抱え、様々な形でアドバイスを得ながら進んできたことと思われます。それぞれの夫婦間で抱えている状況が違うことを考えれば、個別に相談できる場所が必要であることから、妊活をしている夫婦をサポートする体制の構築を求めたところ、県の事業も活用しながら市民ニーズに応えていけるよう工夫していく旨の回答が担当所管よりありました。

政治資金の残り 82,068円

（令和2年5月～6月の内訳）

支出…ポスター掲示用両面テープ 2,253円

◆歩行者の安全確保が最優先

2月に発生した池子2丁目地内での崖崩れを受け、市道に面する崖地（イエローゾーン）の調査が行われた結果、危険であり対策工事等が必要と思われる箇所が20ヶ所（市有地7ヶ所、民有地13ヶ所）発見されました。今回調査の対象となったのは幹線道路沿いということで、特に歩行者の往来が多い場所については、通行している人たちの安全を第一義と考えた措置を講ずるよう提言したところ、担当所管からは看板等の設置で注意を促すと共に広報などでも安全に関する周知を図っていききたいとの回答がありました。

また、民有地においては費用負担の問題から対策工事が進まない可能性も考慮し、補助制度の拡充を求めたところ、助成額の上乗せなど、速やかに新たな制度構築に着手するとの回答が市長よりありました。

そして、市有地の整備に関しては、危険度と工事予算を見定めた上で計画を策定し、順次安全対策を図っていくよう求めたところです。

◆電子決済の導入で利便性を向上

今回のコロナ禍において3密を避けることを意識した場合、利便性の高い電子決済システムやインターネットを利用したクレジットカードでの納付を導入すべきと考え、個人税の納税方法の拡大を提案。

これに対し担当所管からは、現在法人税の電子決済で使用されているeLTAX（地方税ポータルシステム）の汎用性を見定めると共に、コストとセキュリティー面を勘案しながら導入の可能性について検証していくとの回答がありました。

新たな納税方法を導入すれば、納税者である市民の利便性向上だけでなく市職員の業務量軽減にも繋がりますし、納税率の向上にも寄与するものと考えます。

～ Topics ～

海水浴場を開設しない状況下での安心・安全対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、逗子市を含め県内全ての海水浴場がこの夏の開設を見送ることとしました。

さりとして、夏季には多くの人たちが海岸に遊びに来ることが容易に想像できることから、何らかの対策を講じなければならないことは明らかです。そのため、本市では海岸の安心・安全を確保する新たな条例を制定。海岸において、焚き火または火気の使用、飲酒、他人を畏怖させる入墨の露出、拡声器等の使用、新型コロナウイルス感染症の拡大につながる恐れのある密集を禁止するものとなっています。(期間は7月1日～8月31日)

また、来訪者の安全確保を目的に、遊泳可能な制限区域を設けライフガードを設置するほか、砂浜にはマナー警備員を配置することも予定されています。



台風シーズン到来を前に避難所体制を見直し

今年度から台風発生時の自主避難所は、市立小学校5校の体育館と逗子アリーナになります。昨年秋の超大型台風上陸時の状況を踏まえ、より多くの人数が避難でき少しでも3密を避けることができる場所として変更されました。

台風シーズン到来を前にお近くの避難場所の位置を改めてご確認ください。



GIGAスクール構想を前倒して進めることに

当初、今年度から3年間をかけ児童・生徒の人数分のタブレット端末を各小・中学校に整備する方針でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響による休業措置を鑑み、家庭でもオンライン学習が行える環境を早期に整えておく必要があることから、予定を前倒して今年度中に取り揃えることとなりました。



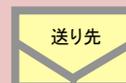
新型コロナ対策基金などを活用した新たな補助事業

- ◆放課後児童クラブの利用世帯を対象に、登園自粛期間中の保育料の減免を実施。
- ◆認可外保育施設等の利用世帯で、幼児教育・保育無償化給付の対象とならない世帯に月額1万円×2ヶ月分を助成。
- ◆避難所における感染予防対策を図るため、避難所用間仕切り、防護服、消耗品等を整備。
- ◆市立小・中学校の就学援助受給者に対し、臨時休業期間の給食費相当額を支給。
- ◆子ども・子育て支援施設などに対し、消毒用アルコール、非接触式体温計、マスク等の必要備品を提供。(国庫補助事業)

※事業実施後の新型コロナ対策基金残高は約3億3千万円となります。

あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp